

仕事を「作業」に分けてみよう。

5W1H 分解。

1つの仕事を5W1H（いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どうやって）で分解して、その仕事の「本当の中身」を理解するワークシート。業務分析の基礎が身につきます。

👤 小学高学年～中学生

🕒 40～50分

📊 業務分析入門

🖨️ 印刷OK

— このワークシートでわかること

🔍 「同じ仕事」も、5W1Hで見ると別物に見える

「先生」「医者さん」「店員さん」と一言で言っても、「いつ・どこで・誰のために・何を・なぜ・どうやって」を分解すると、その仕事の本質が見えてきます。これはビジネスや研究で使われる業務分析の基本。AI時代の進路選びにも役立ちます。

STEP 1-2

分析する仕事を選び、5W1Hで分解

STEP 3-4

一番大事な要素を見つける

STEP 5-7

AI/人間に分け、発表・ふりかえり

1

分析する仕事を1つ選ぼう

💡 自分が興味ある仕事、家族の仕事、最近気になった仕事 — どれでもOK。「具体的な仕事」のほうが分析しやすいよ。

📋 分析する仕事

例：保育園の先生／パン屋さん／消防士／看護師…

💡 例

このワークシートでは「**保育園の先生**」を例に進めてみます。

💡 「いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どうやって」の6つの視点で分解。書ける範囲でOK。

W When — いつ

時間帯・曜日・季節など。1日のうちで仕事しているのはいつ？

例：朝7時～夕方6時。平日。1年中…

W Where — どこで

場所はどこ？室内？屋外？移動する？

例：保育園の中・園庭・お散歩で公園にも行く…

W Who — 誰が／誰のために

誰が働いていて、誰のためにする仕事？

例：保育士の資格を持つ大人が、0～5歳の子どもたちと保護者のために…

W What — 何を

具体的に何をしている？作業を3～5個書こう。

例：子どもの世話・食事の支援・遊びを通して発達を支援する・保護者と話す…

W Why — なぜ

なぜこの仕事が必要？何のためにある？

例：保護者が安心して働けるように・子どもの健やかな成長のために・社会全体の子育てを支えるために…

H How — どうやって

どんな方法・道具・スキルで仕事をする？

例：絵本・歌・遊び・観察・声かけ・記録・チームで連携…

3

「一番大事な要素」を順位づけしよう

💡 5W1Hの中で、その仕事を成り立たせている「一番大事」「次に大事」「3番目」を選ぼう。理由も書こう。



一番大事なのは？（例：Why = 子どもの成長のため）



2番目に大事なのは？（例：Who = 子ども一人ひとり）



3番目に大事なのは？（例：How = 観察と寄り添い）

😏 なぜその順番だと思った？

自分の言葉で書いてみよう

4

AIが手伝える要素・人間にしかできない要素

💡 5W1Hで書き出した内容のうち、AIに任せられる部分と、人間にしかできない部分を整理しよう。



AIが手伝える

例：When（シフト管理）

例：What（記録・連絡帳作成）



人間にしかできない

例：Why（人間の幸せの定義）

例：How（抱きしめる・寄り添う）

5

気づきをまとめよう

💡 5W1H で分解してみて、新しく気づいたことを書こう。

💡 仕事の「本質」だと思ったのは？

例：保育士の本質は『なぜ』の部分。技術より、子どもの幸せを願う気持ちを中心にあるとわかった…

💡 もし自分がこの仕事をするとしたら、どこを大事にしたい？

自分の考えを書こう

6

ふりかえり

🌱 「仕事」「作業」「役割」の違いが、分解する前と後でどう変わった？

🌱 5W1H 分解の考え方は、他にどんな場面で使えそう？



家族の仕事を 5W1H で分解して、家族に「合ってる？」と聞いてみよう。意外な発見があるはず。



友達と違う仕事を分析して、「同じ Why の仕事」「同じ How の仕事」がないか比較しよう。



5W1H シートを自由研究のスライドにすると、内容が一気にプロっぽくなる。